芸藪別集

藏書

曜文庫

紫式部家集序

いにしへより今の人の集多くしまらく
にこのとうとものしもあまたく
すゝ一覧中ぬきかきまゐらせいる
かく御代のうしこれ人ころれ
なかに紫式部のしもあまたくさ
あはれなるふ紫式部小闘子かり
清原ふ高年ひすしく ちるとのし
なりしにやしちるるく世しらしも
ふくゆかりはしくもれちさきめ
集をやつまちくの六のとも春名と
いのみんさうすとしらいにゝりし
なうゝしうくもくなりし人
ぬいとうとにさうもれてもせちしくら
うつしてやなまふうて思ひすの今こて
にうくしくちは離騒の梅暮集れ

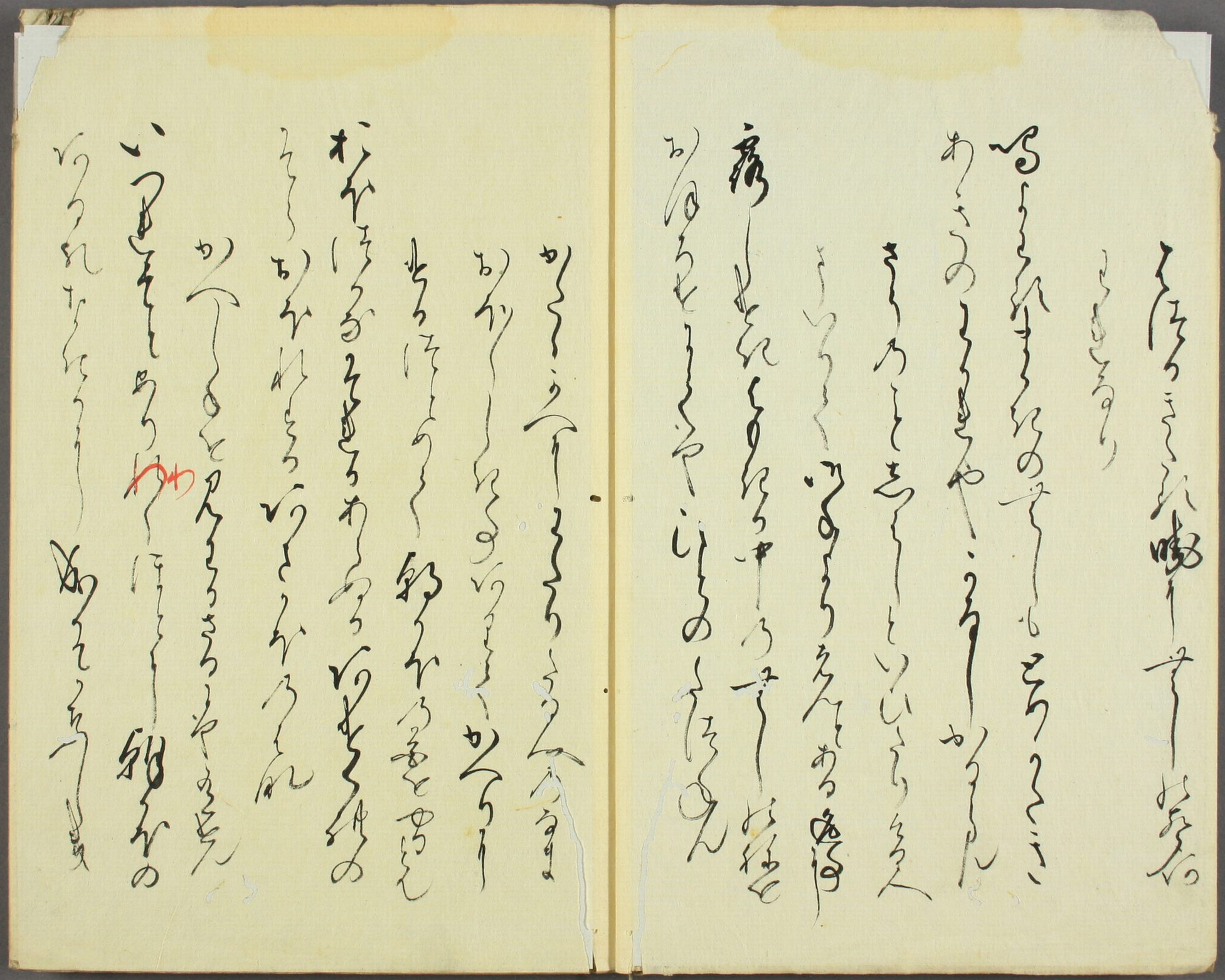
[illegible]

元禄九年歳次丙子葉月八日迷雲

[illegible]加藤虚[illegible]拝書

[illegible]成子家集

[illegible]



[illegible]

[illegible]

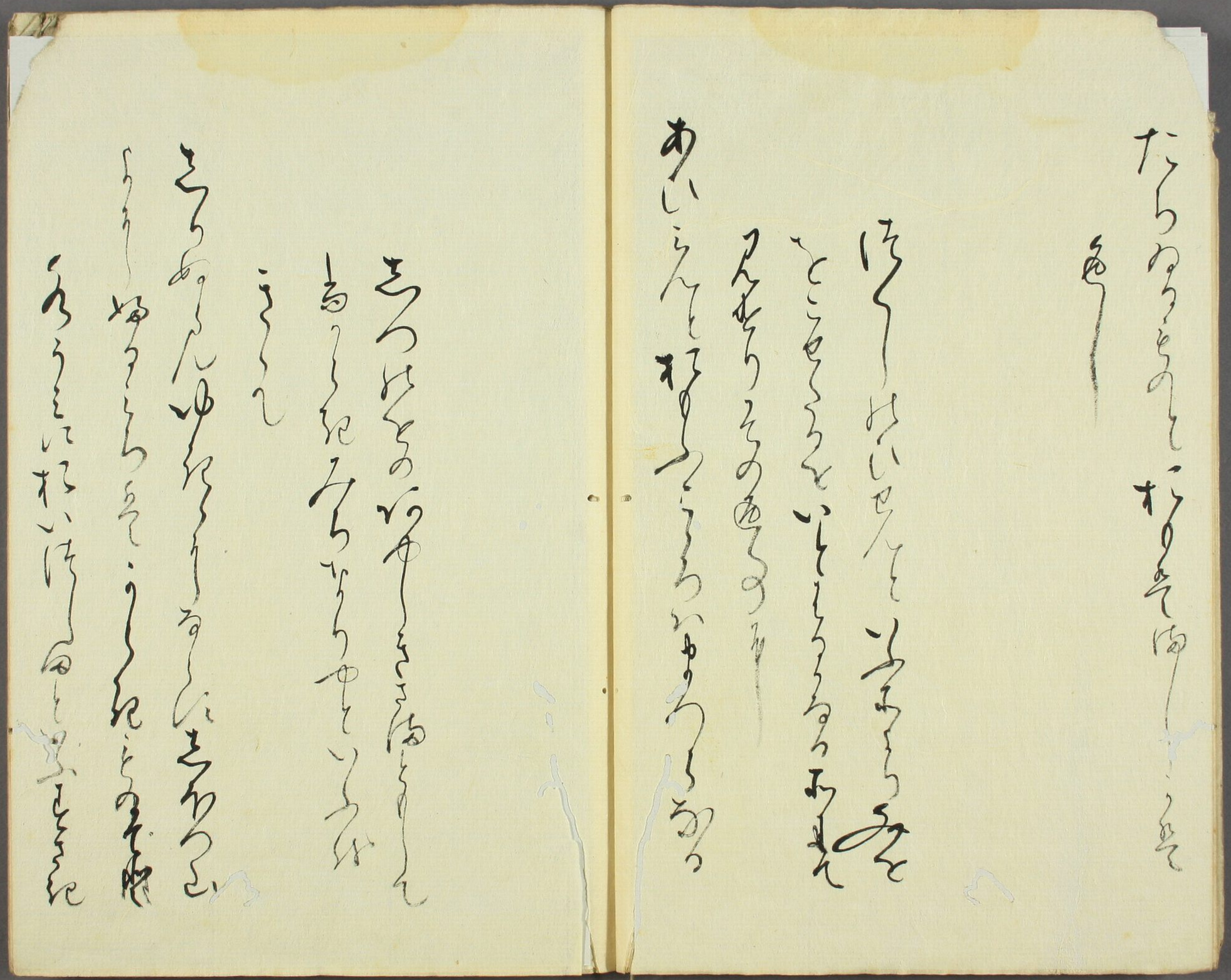
[illegible]

さのしこなもゆきころかへし
意の思ひまはれぬ人のうま人
ころものすゝきまとるゝろ
しも水とらゝなそふかなさむ
えもかきゆくねこうねらしも
あし
ゆふひもあかれにほのあはしも水
ら川のらへすゝかむなりきん

賀茂のまつりはきのふ子紀太
みとしよ明おのゝこゝちそゑ
植松のみしるら
杜鵑こゑまつほとはいとゝそその
めつらしからほとはならぬや
まちえの一日ならしはかなきも
うちとゝなる法師のかと
とふ婦もしろけたらなくとし

ちくまの神のかくろのえそくふ
うさくゆめのふみてもはしらは
め給ひし人のあめの文ひろめ
おもくうしなひさるることにけり
おひくみすいつりに思ひのいまんて
いひそらみのろへしおときとも かさ
中のさみしれかなくろらとおな
さへもとれ和へゆれきたらこしおな

うらさ意新しくく
きくゆへうの法きふもはしよ
雲のうちれかきさしれしく
ゆしいみしの海の人なら
ゆふめくうちききもてしかくるし
いつさとれもにこのしられ
はのふとふ和らをとさらゆら
路波とこしさくめくらの法しもみ



にしきのうらとは
いろとりどりなれど
松の下風
明るきもなほ
さくらふる
同じうれしの
言いとかみ
さくにくひなる
松のうつ心
をとほのまりさくら
ゆき
松ほのぼのうら
筆のうらはゆき
ふるほどとひろく
かくもとも
ふるのやうに
みをつくし

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

にくきしぬしやろ
西方ねかひもやくわかれ心つう
やくとはつれすけきとやほし
みちのへし集やふ田とふと
そこれゆけくめかれのとし
うれら人のぬし
くまなひのすくこいてうと御く
うけらこうのいろし宿れ

きしから人のむとめと船か人
なからゝみらりらゝとこく
くわかしみともとらけのて
もともそ船のつしとさと
かれしはらひやらたおきみな
もとこともいうしらんしら
たけし正月中らそらのとも
こらうしう人のうとしひと常すく

さそたえぬとや　風しろをとくとふ
まちわひしきたつなら
さつきとこやされ
花の風ふしとくしらくとそよきつ
いしつろの・のか身はたえかな鏡
今はそのもさしえしもとも
みそらたなはもとひく絶し
いひかすえはまくゆれたの身すみぬるの

こしかれ池とはるみしむちん
夜中いかりしみ
あすかしぬ人の[illegible]みはまとれつくまと
みつしらいそうし身くそこ[illegible]
桜もとめりもしてみかしとわ
もあつを散らもさ桃の花て[illegible]
あらくみそてら中のきらそきくと桃乃花
思いくゆつす[illegible]まくし[illegible]ゆり[illegible]

免しん

えてしふみしねまきのさと時のま、
ちりもくらはなおりひとしも
茶のちれてろ梨の枝てふれ桜
そのまてきの風のをはさき何也
とみてわかるなると
花といへはいはゆる山かひすとらん
ちりゆまふりのこそすしかくふ

遠山にゆきふし人なくなる
りはらとおやしくうなとへら
こくゝすし山としいひくるし
いはくれ雲らときはゝゑつるあし
つゆもさかりのゆくわくと
山やまさらはふほひなるへし
女院のうへをもくゆつらいとふ
うはみつゝのすゝし人のさしとせう

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ゑりしあれはつれなき女の
しこのきくらうしろうしおまへ
まくらこえしの女と法師のさとる
ころにきこえ侍るをとこは経よむこゑ
もあはれはあやにたえみし
なかれてしかしまへのおもくもうつれ
おもひのうけくれしつゝ恋ん

色し

こゑきくや一声こゝろの関の縁ぞ
思ふ心のおもひはしらて人や見ん
忘れし梅のまくらかしく女のはなさ
またかしいけれ こゝろへかたき
ころしわかれきぬのひとかたり
いとおしきことをわれたのしつへは
いくたびかなあくちはしくかはりかに

春乃よの夢のまよひに色なりしね
さし給小きれの音くそしめつゝ
松かし忍ぶ嵯峨野に花見る
女車ありなまめかしきの萩の
花かくろふらくおちたるに
さすかの者すりそら萩あれや
ちすらうりきしとのあれに
世のちるすれしくとなきくころ

陸奥乃あはれ所いつくともと
くちかなのゝ
君しるのそ行とあるし久きよき
あかもせかはきちれあのう
かしき絶えて心ゆくなる
人乃ほしめく
まことそふあしふ風てみの海も
いそへし波そよそれとかそへし

[illegible]

[illegible]

年[illegible]

[illegible]

[illegible]

世の中[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

世[illegible]

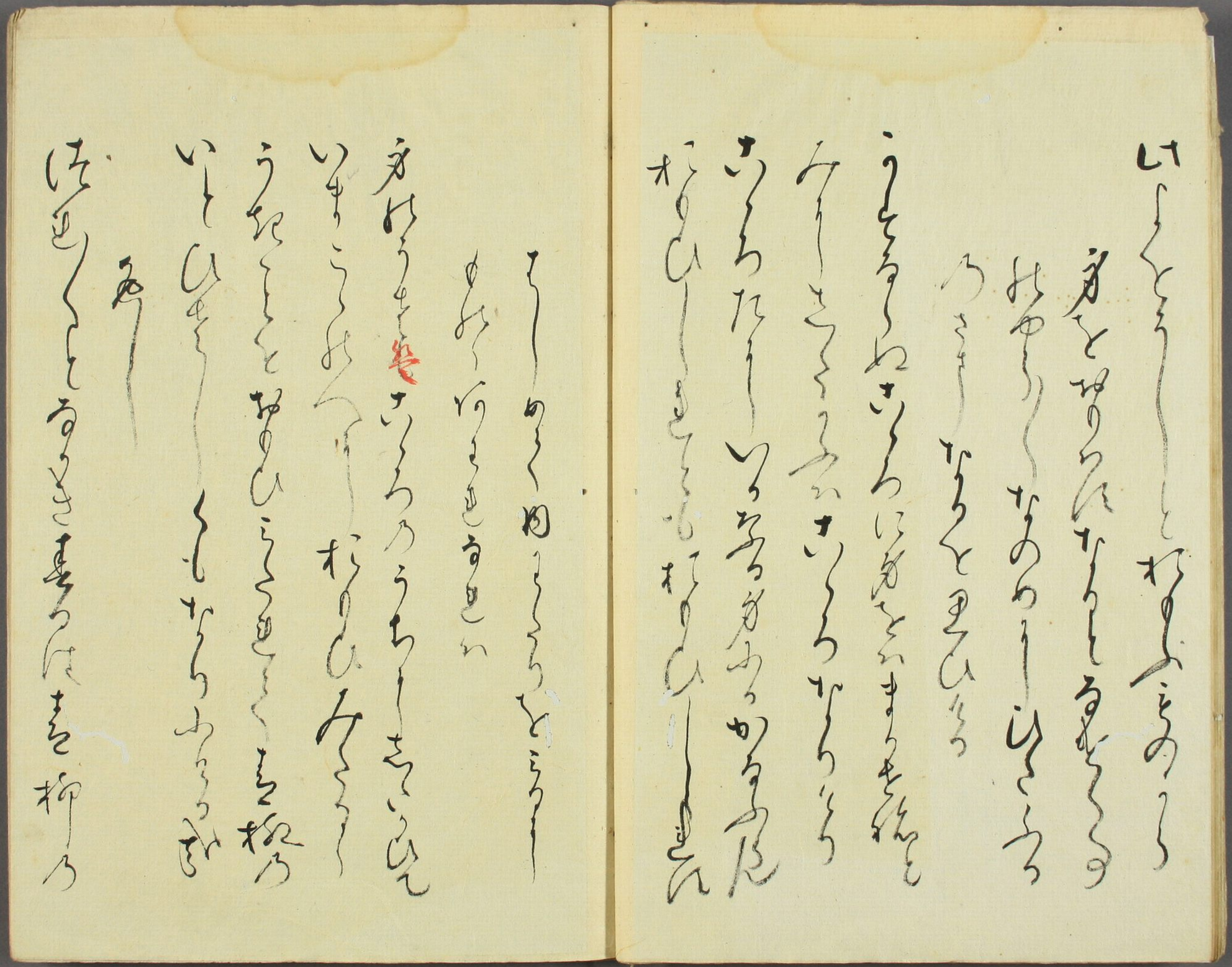
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



いしらぬまもりし ころもえそ みつ
うきなから おもひしぬ 花をと
いといつこそあくなもし ひる
人ときく
まなしや人みん いきこしらん
ららしもや おもひもつれ
くひなとつもとく
ちみひはつ衣そなしるわやめ草

いも めしくちくやふる色とれそ
哉し
さみふるかくし山つおとなやめ子
とれしくあきらなにはかこはつ
右御門院 三条 法乃大臣
白河おりりかし あきらと御 まりした
なかめやそてはきつわの いつのこそ
いはく乃 ちりりしへ すまのうら

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ゆくとかへらんさえくさへし
ちわくまれ雲のけしきも秋
うつりもしきちかれてるぬ木
昨は日ひまりこぬ将れとらのかし
さとうちるれなきそてまちらし
残し杉待しまへのまもれらもし木
小わかりくなうゑんのまの
新
らしれら紀まらなとと落そひく

かくれし紀瀧のおもしら那
旅し
ひきまわくなかくくみなるゆの風ふ
うれそこちれうけやいつもよ
わかりなきれいつまぬすゝ紀を
はるみし
なくて世のちぬしすうてわやめ学
くふまれらちれ粽はいつのくれ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

人の

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

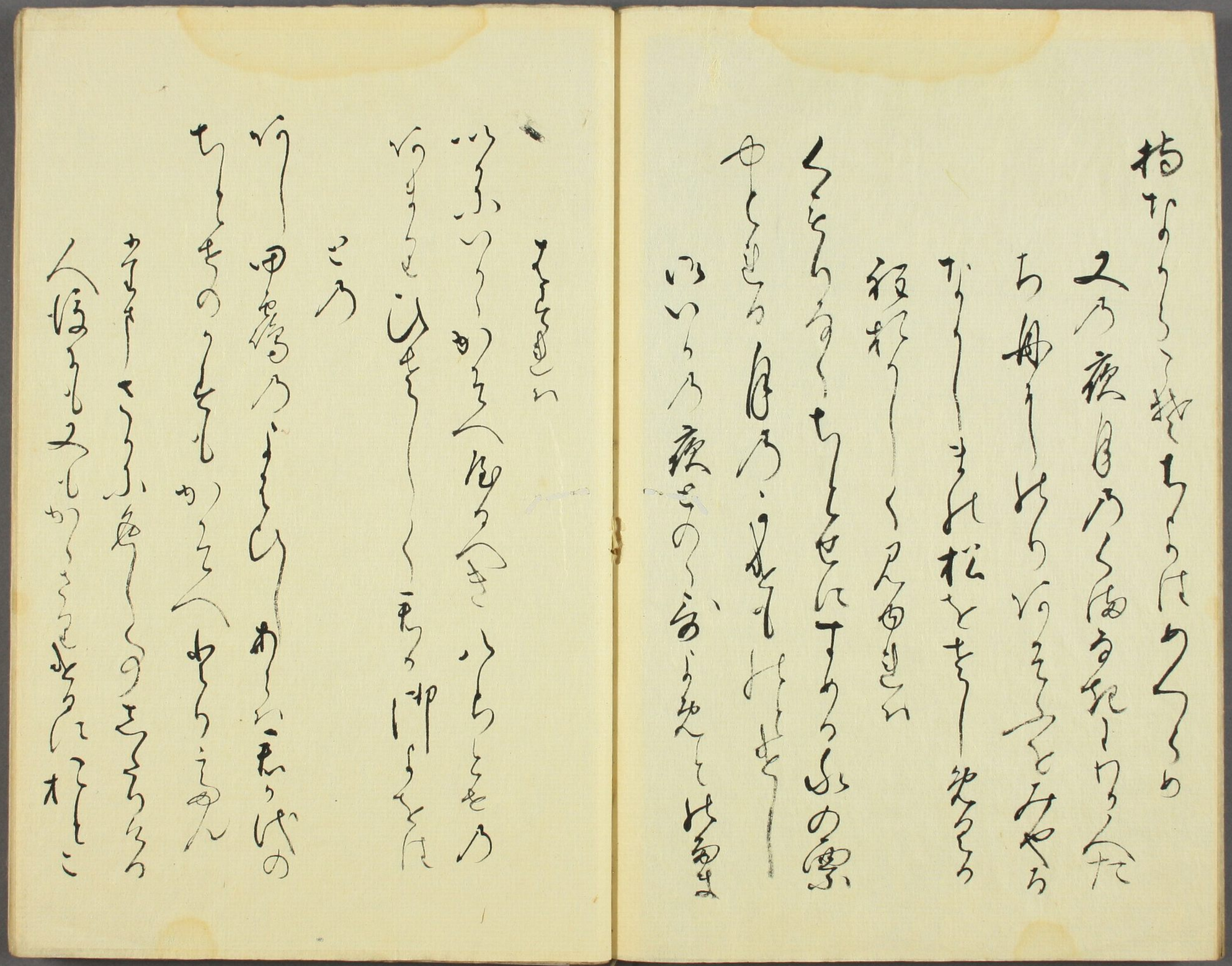
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



[illegible]

九月[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

侍従宰相の君節のつぎの日の
おなじくいとけうらなる弘徽殿の
女御のひとの御しつらひ
いとめでたし
日ごろやうきまさりたるに
なほ
なほ
なほ

中将なほなほ
ほとほとしきに
ゆるしわひたるかをに
こうるさの中将
こころをしなほ
かりそめとのふの
なほ
なほ
なほ
なほ

紅梅と桜とをそなへて

[illegible]

[illegible]ふやつて梅の色も

[illegible]

[illegible]梅の花と思ひて

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

五節の[illegible]

なを毎年[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

人[illegible]

[illegible]

[illegible]

七月[illegible]

[illegible]

秋の水に紅葉
世にながらふる
七日
おもふことゆゑ
あやめ草
さそふ水
やまもり
銀の川
なかれの
雲まより
世にふるあきの
月
かりがねの
なかれてはつる
やまぶ
ながらへて
ふるの
ふるの
ふるひ
ふるの
ふるの
ふるの

[illegible]

菊乃花の日ハ神ハ[illegible]

[illegible]

時雨ハ[illegible]日さ[illegible]

[illegible]

[illegible]

又ハ[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

題

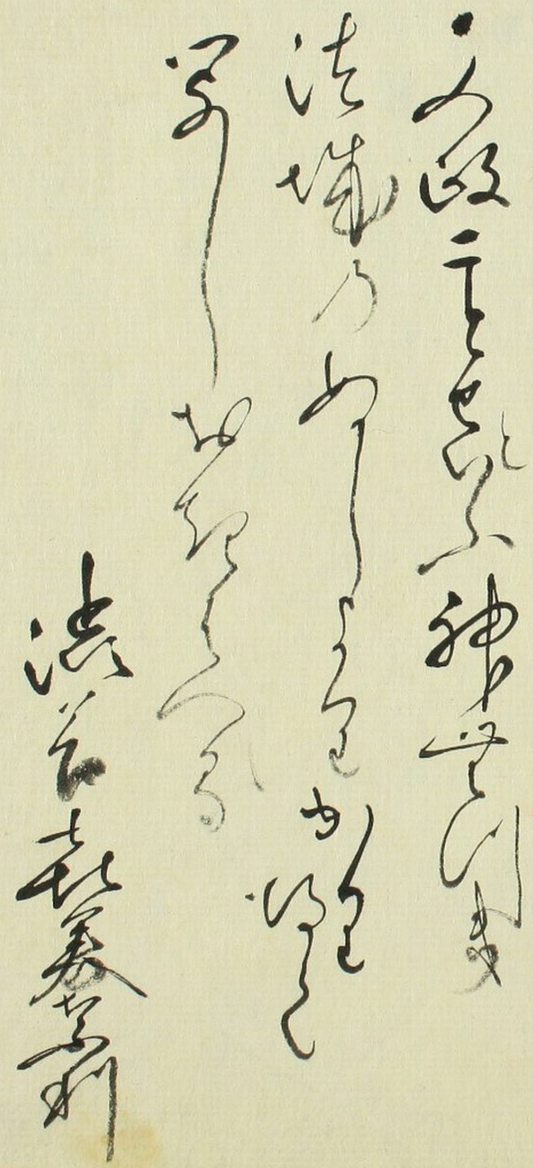
[illegible]

[illegible]

[illegible]

元錄九年丙子四月吉日

冨月堂
秋田屋十左衛門 刻行



山島乃尾張國陸奥屋乃葉里底
津神根に宮柱太敷立て鎮坐す掛
巻毋綾に恐き社大神乃社に大前に御社
宮八幡宮祠官紀長峯恐き恐みも
白左久世俗言葉に謂ふ親ふる

孝養ヲ依天子ハ訓ハ慈愛ヲ
学天成長ト謂有学者ハ言ハ如久氏人等ハ産土神ト
ス崇メ毎年ハ隨例九月十五日ハ
人ヲ日ヲ生日ハ足自ハ決定ス天地ハ
諸人集比神御稜威ヲ能ク弥益々ハ炫耀
年豊ト進上競天御地燭数多燈
迎祢宇庭世良々白打鳴三ツ勇脱
笛吹鼓打上アゲ扇扇志析鈴五十鈴取由良加志心天
扇
舞奉天参ル年祈三毒祈ノ礼代ニ献ニ
大御饌大御酒雑々ノ多米都物ヲ
安幣帛ハ足幣帛ト平ケ久安ケ
ク開ク良天宣祝北大御代ヲ遠御代ノ長御代ト宇宙ニ
国土安穏ケ

然歟の預知宣旨を始メ武家諸人ヲハ
親ノ已カ子ニ慈愛家事乃他ノ身事ヘ
[illegible]ヒ壽命長ケ世ヒヲ玉ヒ此卿ノ
如ヒメ國中ニ於ハ尤汁ノ御心伊知東備
健ヒ坐ス國底國ヨリ荒ヒ疎
ニ来ム柱汁乃福寿元ノ國家

尤ノ寅不吉日ヲ今日大前ニ特奉レ
詔之ノ中ニハ不慮穢不思議有
ムヲモ又長峰郡ニ此汁社ニ奉仕ヒ
事ヲモ撫奉レ業ニヲ有ハ古ヨリ
祭コヲ故典ハ遠ヒナム支其ヲモ汁
五日大直日ハ見直ヲ聞直ヲ坐天
皆給布支ヲ無久宗給布支ヲ

無ク夏無無ク夜ノ冬日ノ
冬ニ冬ニ至ヘト至ヘト至ヘ
祈白ス事ノ由ヲ表ハシ駒乃耳振立テ
聞看セト

六月　遠遠